

6月議会 追加議案質疑（7月2日）山口きよあき議員

議員の口利きを前提にした処分。全容解明を —市長の給料の特例（半減3ヶ月）について—

河村市長は6月議会最終日に、国民健康保険料に係る滞納整理嘱託員の不正採用に関わり、職員を処分したことに伴い、市長も「給料を3ヶ月半減」する条例を提案し、山口清明議員が質問しました。

百条調査委員会の設置を要求

問題の不正採用事件について、日本共産党名古屋市議団は、昨年12月と今年4月と二度にわたり、議長に対して地方自治法第百条にもとづく調査特別委員会の設置など、真相解明のために議会として全力をあげるよう申し入れてきました。

なぜ最終報告前に処分したのか

市長は2月に弁護士による調査チームを発足させ、4月3日に中間報告を発表。6月18日に幹部職員2人を免職にするなどの処分を行い、市長にも重い処分を科す条例を出しました。山口議員は「最終報告を待たずに中間報告のみで処分を決定したのはなぜか」とただし、市長は「職員にも事実関係は十分調査した。5月24日に検察も起訴猶予処分をしたので」と答えました。また、ネット中継のない時期に「ネッ



職員不正採用
問題で免職など
の処分を報道する各新聞
(6月18・19日)

ト中継で視聴していた」という明らかな事実誤認の指摘に對して、市長は「（弁護士が最終報告で示すと思うが）現実に見ていた印象と重なったのではないか」と答えました。



職員は全員、議員からの働きかけを認めている（市長）

調査チームの中間報告を報じた新聞の見出しには「市議の口利き認定」「恫喝的顔浮かび不正」「部長『市議に圧力感じた』」などの言葉が並びました。

山口議員は「不正を招いた要因に議員の関与があつたか否かを明らかにすることが事件の重要なポイント」と指摘し、名古屋地検が職員3人と市会議員いずれも不起訴としたのに、あえて重い処分を決定したことについて「市として相当十分な確信を持って、事件に関する事実認定をしたと思うが、不正採用事件に幹部職員が手を染めた動機について、市長として事実と認定した事柄は何か」とただしました。河村市長は「職員は、議員さんからの働きかけがあつたことは認めています。そこまで確実であれば間違いないと判断した」と答えました。

事件の真相究明、議員に対する疑惑の解明と政治倫理の確立を

市長は、幹部職員が不正を働いた動機に、議員からの働きかけがあったと明言しました。そのことを認定したうえで、今回の議案が提案されています。

市会議員にかけられた疑惑、口利き疑惑の解明は市民に対する議会の責務です。百条委員会の設置については、現在も、議会運営委員会理事会で協議が続けられています。山口議員は「百条委員会が設置できるよう粘り強く取り組み、事件の真相究明、議員に対する疑惑の解明と政治倫理の確立のために、今後とも力を尽くしたい」と決意を表明しました。

この議案は直ちに採決が行われ、全会一致で可決されました。